

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 一般国道53号 津山南道路 <small>つやまみなみどろう</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自： <small>おかやまけんくめぐんみさきちやううたのなか</small> 岡山県久米郡美咲町打穴中 至： <small>おかやまけんつやましひらふく</small> 岡山県津山市平福			延長	5.4 km
事業概要	<p>一般国道53号は、<small>おかやま</small>岡山市を起点とし、<small>とっとり</small>鳥取市に至る延長約140kmの主要幹線道路である。 津山南道路は、津山市で発生する交通混雑を緩和するとともに、津山周辺圏と岡山空港及び県南部地域との連携強化を促進し、沿線地域の発展を図ることを目的として計画された、<small>くめぐんみさきちやううたのなか</small>久米郡美咲町打穴中～津山市平福に至る延長5.4kmのバイパスである。 また、地域高規格道路「<small>くこうつやまどろう</small>空港津山道路」の一部を構成するものである。</p>				
H16年度事業化	H15年度都市計画決定	H19年度用地着手	工事未着手		
全体事業費	約220億円	事業進捗率 (H21年度末現在)	14%	供用済延長	0.0km
計画交通量	14,100 ～ 17,500 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (3便益) (事業全体) 1.0 (残事業) 1.3	総費用 (残事業)/ (事業全体) 146 / 185 億円 事業費： 125/165 億円 維持管理費： 20/20 億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 186 / 186 億円 走行時間短縮便益： 131/131 億円 走行費用減少便益： 37/ 37 億円 交通事故減少便益： 18/ 18 億円	基準年	平成22年
感度分析の結果	<p>感度分析の結果：残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C= 1.5 (交通量+10%) B/C= 1.1 (交通量-10%)</p> <p>事業費変動：B/C= 1.2 (事業費+10%) B/C= 1.4 (事業費-10%)</p> <p>事業期間変動：B/C= 1.1 (事業期間+20%) B/C= 1.4 (事業期間-20%)</p>				
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する（あさひチェリーバス：上り・下り各4便/日） ・津山市から岡山空港（第三種空港）へのアクセスが向上 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産品を主体とする地域：津山市（水稻、大豆等）、主な出荷先：岡山県内 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線（津山市～岡山市） ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上（美咲町～津山市） <p>④安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設へのアクセスが向上（美咲町～津山中央病院） <p>⑤安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死傷事故件数の削減が見込まれる <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次緊急輸送道路に指定 ・迂回路として位置づけられる主要地方道久米建部線の代替路線を形成する。 <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOx排出量の削減が見込まれる ・SPM排出量の削減が見込まれる 				

関係する地方公共団体等の意見

本道路の整備により、国道53号の交通円滑化が図られるとともに、沿線の住民生活の快適化と沿道の活性化が期待されることから、津山市をはじめとする沿線市町村から構成される空港津山整備促進協議会などにより早期整備の要請を受けている。

岡山県知事の意見：

一般国道53号 津山南道路について、継続するとの対応方針（原案）案については異存ありません。

広域交流拠点である岡山空港及び県南部都市圏と津山市を中心とした津山圏域を連絡する空港津山道路の一部であり、両圏域を連絡する地域ネットワークを形成するためにも、本事業の早期完成が必要である。

事業評価監視委員会の意見

事業者から事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

津山市内の国道53号では、交通混雑や交通事故が多発している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末で用地買収は約15%が完了しており、現在は調査設計・用地買収を推進している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在は、調査設計・用地買収を行っており、早期供用を目指し、事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

トンネル断面形状の見直しによりコスト縮減を図っている。【約0.9億円の減少】

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。